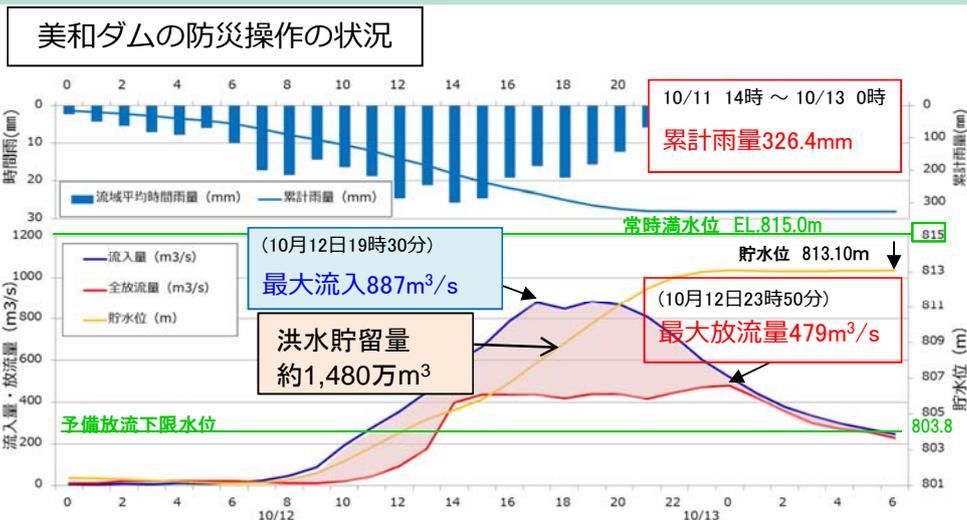


# 美和ダムによる効果

【数字はすべて速報値】

- 非常に強い台風第19号の影響により、10月11日の降り始めからの降水量は、美和ダム流域平均で約326mmを記録しました。また、最大流入量約887m<sup>3</sup>/sは過去3番目に大きい流入量であり、10月12日21時30分～13日1時00分までの間異常洪水時防災操作を実施しています。
- 美和ダムでの防災操作の実施により、最大約1,480万m<sup>3</sup>の水を貯留し、ダム操作がなかった場合と比較して、ダム下流の沢渡（さわんど）地点の水位は、約50cm低下したものと推定されます。
- 美和ダム再開発事業により、約6時間に亘りダム下流の河川流量を約50m<sup>3</sup>/s低減したと推測されます。
- 土砂バイパストンネル※の運用を行い、貯水池への土砂流入を抑制しています。

※洪水時に上流から流入してくる大量の土砂を美和ダムを迂回させ、ダム湖に流入する土砂を抑制するための施設



美和ダム放流状況 (10月12日22:19)



土砂バイパストンネル放流 (10月12日13:20)

